



<COPY>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 260

Governor's Monthly Letter

No. **2** 15. JULY '79
第2信
昭和54年7月15日

GOVERNOR TAMOTSU KAWASE
Office: 7th Fl., Daiei Bldg., 1-11-20, Nishiki, Naka-ku, Nagoya, Japan 460 Tel. (052) 211-4415
国際ロータリー第260地区 ガバナー 川瀬 保
事務所 〒460 名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル7階 電話(052) 211-4415



“Let Service Light The Way”

奉仕の^ひ灯で道を照らそう



第260地区各ロータリークラブ会長、幹事殿

◎公式訪問始まる

The First Official Visit To Toyohashi North R.C.!



最初の公式訪問地である豊橋北R.C.で第一声を上げる川瀬ガバナー

ボカラトーンの

国際協議会からローマ大会へ

From Boca Raton to Rome



第260地区ガバナー
川瀬保

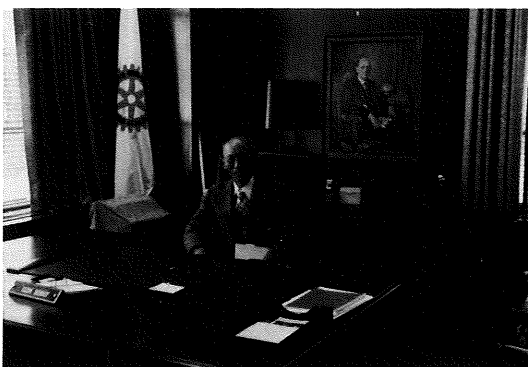


去る6月1日から7日まで、米国フロリダ州ボカラトーンで国際協議会が開かれた。これは世界150余国から集まった約370名のガバナー・ノミニーが、新会長ボーマー氏の指導のもとに、いわばガバナー学を身につけると共に世界中のロータリーの指導者たちの間に友情の輪をひろげるチャンスを与えるのが狙いである。集まったのは、ノミニーのほかに、R.I.の幹部、事務局員、協議会のリーダー、バストガバナー、そしてこれらの人たちの夫人家族を含め凡そ1,000名に及んだ。

大体午前が本会議、午後が分科会となっていたが、9時から始まる本会議の前の10分間、ロータリー・ソングの大合唱が毎日行なわれた。肌の色も言葉も違うお互いが、それぞれ定められた席につく。まず隣席或は前後の人たちと名刺の交換から始まり、やがて片ことまじりの挨拶となる。しかも、その指定席が毎日変わるので、毎日新しい友人と握手を交すことになる。なかなか考えた運営のしかたに感心する。日本人同志が隣席になんて考え方は全く通用しないように出来ている。食堂にゆく時は夫婦帯同だが、これも座席はバラバラで、色々な国の人たちと名刺を交換することになる。こうした場合、お互いにお国から用意してきたほんの手軽なお土産を交換する例になっている。私たちも、先輩のガバナーからのお仕こみで、種々の“名刺がわり”

の品を200個ばかり用意していったが、帰りには交換した戴き物がトランクの片すみにかなりの場を占めることになった。

思えば地球上の各地から集まったお互いである。今の今まで顔も名前も知らなかったお互いである。それが只一言“私はロータリアンだ”と名乗ることによって今までの疎外感が一挙に吹きとんで手を握り合う。ロータリーとは一体何だろうか。75年前、たった4人で始められた友人同志の集まりが、今では80何万人の大集団となった。それは、自分の利益を求めての集まりではない。他人のためにつくそう、という人たちの集まりである。奉仕の道をさぐるための集まりである。



エバンストンのR.I.本部のポール・ハリスの執務室にて

国際協議会に集まった人たちの平均年令は確実に60才をこえていると思う。故郷に帰れば、その職域で、またその社会でのエリートである人たちだ。これらの人たちが1本のタクトのもとにロータリーの歌を大合唱する。ロータリーとは何だろう。

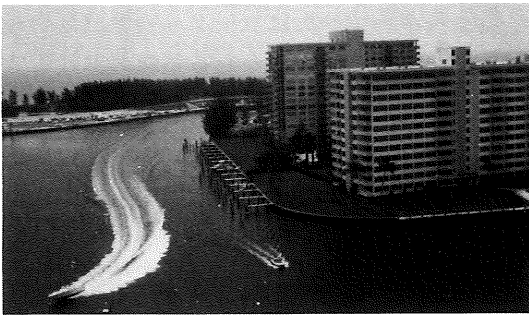
R.I.の新会長のボーマー氏は素晴らしい風格の主であり、またそのスピーチは全く素晴らしい。私たちはボカラトーンとローマを通じて新会長の話を6～7回は聞いたが、一言にして言えば、R.I.会長として誠にふさわしい人を得たと思う。

量の変化は質の変化につながる、と言われているが、ロータリーに今そのことが起りつつあるのではなからうか。ボーマー氏は“各クラブは、夫々自主性を固持しつつロータリーの“視度”を拡大し、国際性をもりあげよ

う。そのことにより、各クラブが単独ではなしえないことも、ロータリー全体として達成することが出来るであろう”と述べていられる。

これは、75周年記念事業の中核をなす3H運動にからんでの発言であり、ロータリーの巨大化と共にロータリーの動き、その社会的影響力に質的变化が生れつつあるものと私は理解したのである。

国際協議会では、午後は大体に於て分科会であり、これは国語別に10数名ずつの組合せで行なわれた。我々の場合は、総員23名を2組に分け、練達した日本人リーダーによる指導を受けた。研修の内容は何れも素晴らしいものであったが、慾を言えば、我々ノミニー同志の話し合い—例えば所属地の事情とか悩みや苦労話など、また将来への構想や理想などを話し合うような時間的ゆとりがなくスケジュールの過密を嘆く声が多かった。このことは来るべき1年間、私がガバナーとしてこの地区で色々な集まりのスケジュールを組んでいく場合よくよく心せねばならぬ点である。



ボカラトーンのホテルの窓からの眺め

さて、6月7日正午、国際協議会が終ってすぐに私たち一行はニューヨーク経由でローマに向った。国を出てからすでに日数を重ね、はるばると地球の裏側までやってきた、といった長い道づれとしての融和感から、旅のムードは日と共に和やかに楽しいものになった。お互いは全日本23地区の“ガバナー同期生”だ、といった気持、苦楽を分かち合おうとする盟友感が湧然としてわき上ってきた。殆んど全員が夫妻帯同であったことも、友情の輪をひろげるのに大きく役立った。

さて、次はローマ大会であるがこれはお世辞にもほめた大会ではなかった。我々が受けた報告によると全世界に18,196のクラブがあり、その中大会に出席登録したのが4,041クラブ、メンバーの出席登録が8,313名、夫人等を含めた登録総数14,692名となっている。この数字だけから見ると、一応盛会ということになるであろう。ローマのロータリーでは“最大の成功”と自讃している。だが大会運営の実情は無責任とも言うべきひどい状態であった。



パチカン宮殿前にて

後日の参考に資するために2、3の実例をあげよう。本会議3日間は毎日9時に音楽を流し、9時30分から会議ということになっていたが、実際には音楽は流されず開会は大體20分位おくれた。又、ガバナー・ノミニーのために特別席が用意してあると記されていたが、それはデタラメであり、念のためSAAに尋ねたが“そんなものはない”と平気で答えた。友愛の広場もひどかった。暑い国、暑い季節、それに生水は飲んではいかんといった状況下で、ウソみたいな話だが、ジュースの売場もなかった。

ボーマー会長もさすがにこたえたらしく、すっかり不興気であったが来年のシカゴ大会は必ず立派にやるから大勢でやってきて欲しいとくり返しておられたと伝えられた。

以上、実情をお伝えするだけでも甚だ不愉快なことばかりだったが、それとは別に、我々がガバナー・ノミニー一同はこの大会でガバナーとして選挙せられ、晴れてガバナー・イレクトとなったことを申述べてペンを描くことにする。

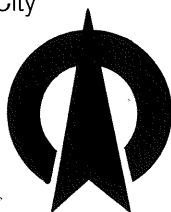
1979年度 地区協議会開催される

District Assembly in Omachi City

と き 6月24日

と ころ 大町市

ホストクラブ 大町ロータリークラブ



国際ロータリークラブ第260地区協議会は去る6月24日ホスト大町ロータリークラブのもとに約800名の参加者を得て盛大に開催されました。当日は8ヶ所の分科会会場に分かれ有意義かつ円滑に行なわれました。これはホストクラブを初めとする参会の皆様方のご協力の賜ものと感謝する次第です。

プログラム

〔午前の部〕

○分科会テーマ“共に奉仕するわれらの年度”

グループ1 会長 部会	グループ5 社会奉仕部会
“ 2 幹事 部会	“ 6 国際奉仕部会
“ 3 クラブ奉仕部会	“ 7 青少年奉仕部会
“ 4 職業奉仕部会	“ 8 ロータリー財団部会

〔午後の部〕

○本会議

開会点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」“Reach Out”

開会挨拶 ホストクラブ実行委員長 福島忠雄

歓迎の辞ならびに紹介 ガバナー 田辺三郎

地区ガバナー挨拶 ガバナー 田辺三郎

地区ガバナー・イレクト挨拶 ガバナー・イレクト 川瀬 保

財団功労者賞伝達

意義ある業績賞伝達

新クラブの紹介 ガバナー 田辺三郎

次期ホストクラブ挨拶 刈谷クラブ次期会長 加藤伊三

1979年度地区大会紹介 豊橋北クラブ次期会長 伊藤久彦

ロータリーソング「手に手つないで」

閉会挨拶 ホストクラブ会長 林 宏

閉会点鐘

川瀬ガバナー・イレクト挨拶要旨

本日はお忙しいところを遠路ご参集いただきまして誠にありがとうございました。又、地区協議会の設営に対して福島委員長を初めとした大町ロータリークラブの皆様方の多大なご協力にかさねてお礼申し上げます。

さて、私は米国フロリダ州のボカラトーンでの国際協議会に出席してきたわけですが、そこで感じたことやR.I.会長の印象や見解をご報告申し上げたいと思います。

新会長ボーマー氏はロータリー歴37年の経歴とふっくらとした堂々たる信頼のおける大政治家タイプの会長であり、とりわけ非常に演説の上手な方であったと印象に残っております。

ここでの1週間の会議を通してボーマー会長が一番力を入れておるのは拡大増強であります。即ち会員の増加と新クラブ結成による数字的増強である。次にロータリアンのみならず一般の人に対してもポール・ハリス・フェローの意義を理解させ協賛せしむること、又3H運動を通じて世界の貧しい人々に明るい光が届くように努力し、75周年記念事業に参加することである。

では一体どうすればこれらの目標を達成できるでしょうか？これに対しボーマー会長は注目すべき発言をしています。それにはまず“各クラブの自主性を固守しつつ、ロータリーの視度を拡大し、国際性を強調することによって、各クラブが単独でなし得ること以上

の事柄をロータリー全体として達成しうるのだ」と。「世はまさに変動の世界であり、我々は変遷する時代と共にロータリーを変化させていかなければならない」と云ったポール・ハリスの言葉に注目し、我々の進むべき道を奉仕の光で照らしださなければならないのです。まして最近の激動の世界ではその激動する世の中に対応し得るロータリーの運営が必要でなければならないのです。

最後にボーマー会長は8日前に我々は世界各国よりロータリーを学ぼうとしてここに集った。ロータリーはいろいろな問題を抱えているが、物事をなす為には“遠い地平線を望まずして、地平線に到達することは出来ない”と、又地区及びクラブはそれぞれの伝統と習慣を持っている。この良い面を生かして、独自の方法で奉仕の道を照らすように考えて下さいと力説された。

日本のロータリーは出席率、クラブ増強、財団寄付率等は世界一であります、運営は出来る限り気楽で楽しいロータリーの集いになるようにこの一年間本日ご出席の皆様方をお願いを申し上げて挨拶いたします。

(この記事は一部重複いたしますので割愛させていただきます)

8 月公式訪問日程

Schedule of Official Visits in August

1 日(水)	辰	野
3 日(金)	箕	輪
6 日(月)	駒	ヶ 根
7 日(火)	岡	谷
9 日(木)	松	本
18 日(土)	東	知 多
20 日(月)	名	古屋中
22 日(水)	小	牧
24 日(金)	尾	張 旭
27 日(月)	松	本 南
28 日(火)	白	馬
29 日(水)	大	町



分 科 会 報 告

○グループⅠ 会長部会

リーダー 地区ガバナー・イレクト川 瀬 保(名古屋南)

副リーダー 地区ガバナー 田 辺 三 郎(常 滑)

報告内容：リーダーから、出席、増強等どれをとっても当地区は立派である。これは歴代ガバナーの努力の賜だが反面窮屈すぎる。会長は手続要覧は幹事に任せて楽しいクラブ作りに専念して欲しいとの提案があった。



○グループⅡ 幹事部会

リーダー 地区幹事 牧 野 達 郎(常 滑)

副リーダー 次期地区幹事 福 山 巧(名古屋南)

報告内容：福山副リーダーから、地区幹事の使命は、ガバナーと各クラブとの橋渡し役と考えており、運営については各クラブの自主性にあわせ柔軟性をもって対応するとの意思表示があり、尚、ガバナー訪問の際の注意事項として、「各クラブの特徴は何か」の質問が出る予定に付、あらかじめ心掛けておくこと、尚アッセンブリーへの出席義務者は役員理事各委員長であり時間は2時間を厳守する旨説明された。

○グループⅢ クラブ奉仕部会

リーダー 尾張第1分区代理 鈴 木 亮 三(半 田)

副リーダー 南信第1分区代理 浦沢富意知(木 曽)

//リーダー 次期三河第2分区代理 野々山鍾治(豊 田 西)

報告内容：来年度は増強に主体がおかれてるので、職業分類、会員増強、会員選考、ロータリー情報委員会の合同委員会を開いて相互の連絡を密にし、会員の増強を達成する必要がある。但し会員の増加は質の低下を招く

との意見については、企業規模の大小によって資格判断をせず人柄の良し悪しを判断基準にすればよいとの提言があった。又親睦、S A Aの合同委員会を開催し、型にとらわれない実のある例会を行う方法を検討するようにとのアドバイスがあった。

○グループⅣ 職業奉仕部会

リーダー 南信第2分代理 三井 毅(駒ヶ根)

副リーダー 次期尾張第1分代理 余語 栄三(名古屋東)

報告内容：自己の職業を通じて社会に奉仕するには四つのテストの活用及び企業者に奉仕の精神をPRすることが望ましい。結論としては会員一人一人に職業奉仕の意義の昇揚をはかり、75周年記念期間を活用して有効なプログラムを作ってゆきたいとの報告があった。

○グループⅤ 社会奉仕部会

リーダー 尾張第2分代理 片山復四郎(小牧)

副リーダー 次期南信第1分代理 高木 信雄(松本西南)

報告内容：本年より社会奉仕部会の中に環境保全と保健の両部門が設けられる事となったので、今後の進め方について検討することとなったが、特に、地域の特殊性にマッチした新しい活動を展開して欲しい、又最後迄責任をもって完遂できるという自信のあるプログラムを作るべきだとの意見がでた。

○グループⅥ 国際奉仕部会

リーダー 三河第1分代理 花田 利雄(豊橋)

副リーダー 次期南信第2分代理 中山 修一(伊那)

報告内容：組合せ地区については韓国第366地区に決定したのでアジア大会にて当該地区と懇談し実行に移したい。又青少年交換について今年から国際奉仕委員会所属となったので派遣時の選考についてよく検討して実施したいとの意見が出た。特に今年度は、組合せ地区とのプログラム、研究グループ交換、社会奉仕、青少年の交換の4点について目的に沿った活動を積極的に実行しようと結論を得た。

○グループⅦ 青少年奉仕部会

リーダー 三河第2分代理 水野 茂樹(刈谷)

副リーダー 次期尾張第2分代理 鈴木 茂(春日井)

報告内容：活動の方法としては、青少年活動委員会、ローターアクト、インターアクトの3部門の委員会活動によって広く輪が広げられてゆくものであり、形式にとらわれず青少年の心にふれ、情熱をもって奉仕活動をたゆまなく継続してゆく事が重要であるとの説明があった。



○グループⅧ ローター財団部会

リーダー 東北信分代理 駒崎鉄五郎(上田)

副リーダー 次期三河第1分代理 柴田 敏幸(田原)

報告内容：財団の理解を深めるためのPRを効果的にする方法、奨学生の選考方法について検討された。米山奨学会については75周年を記念して普通寄付を半期1,000円より1,500円に増額を希望する。特別寄付は15万円にて米山協力者としてメダルを贈ることになった。又当地区の達成率について昨年で300%から700%になり世界でも有数の地区になったので今後は理解を深めながら漸増方式が望ましいとの説明があった。

各分科会のアドバイザーとしてはパストガバナーを初めとする各委員長、役員の皆様のご助言をいただき円滑かつ有意義に進行できましたこととお礼申し上げます。なお、紙面の都合により出席いただきましたパストガバナーのお名前のみ下記に列記させていただきますこととお許し下さい。(順不同)

神野 太郎P.G.(豊橋) 原 享二P.G.(飯田)

近藤友右衛門P.G.(名古屋) 鮎谷賢太郎P.G.(名古屋)

滝沢 卓夫P.G.(松本) 山田市三郎P.G.(名古屋南)

佐藤 知雄P.G.(名古屋東) 藤原 正男P.G.(諏訪)

安野 譲次P.G.(一宮) 森 泰樹P.G.(豊橋)

ガバナー連絡会議の報告

Reports from various meetings

さる7月1日に東京プリンスホテルに於て新らしくガバナーになった我々23名とパストガバナー100数十名との懇談会が行なわれ、続いて2日(月)午前と同じホテルで来年度のガバナー(現ノミニー)を含めての連絡会議が開かれた。

全国23地区のうち2、3の地区ではまだノミニーの人選が出来ておらず、ガバナー人事が各地区にとって必らずしも容易ではないという一面をのぞかせていた。

議案の1つは、来年度('80~'81年度)の地区大会の日取の件で、一見ずい分早手まわしのように見えるが、会場確保のためには一日を争うといった事情もあり、また同じ日にあちこち重なることは避けたいといった配慮から各地区が夫々希望の日取を申し出て調整し内定を見た。**わが地区は北野ノミニーの申出通り10月4(土)、5(日)の両日と決った。**

会議は、議案の審議というよりは、むしろ向笠理事その他要職者による諸事報告に重点がおかれた。

大事な問題につき要点を報告する。

(1) 第260地区の今年度地区大会(10月5、6日)に、ボーマー会長の代理としてジョージ・ミーンズ氏が来られることになった。氏はR.I.における実力者で1949年即ち丁度30年前に東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の7クラブが復活再登録された時の恩人である。復活のためにはマッカーサー元帥との折衝その他大変なご盡力をいただいたことが記録に残されている。同氏はこの地区の外に10月20日には第259地区(神奈川県)の大会にも出席せられる。

なお、ボーマー会長は9月15日ソウル、24日福岡、25日大阪、26日仙台、27日東京と連日各地を訪問し各地でIGFをもった上、28日

マニラに向われる予定。

(2) ロータリーへ婦人参加問題については規程審議会にかけられることになったが、恐らくは通過しないであろう。

(3) 東京地区(第258地区)の分割問題は多分12月に決るであろう。グアム、サイパン、沖縄まで含む大地区だから分割は当然の成行きであろう。なお、地区分割はむづかしい問題だが、ブラジル、西ドイツで2地区を併せて3分割するという案が進んでいることは我々としても参考になる。

(4) R.I.の人頭割予算を来年から17ドル50セントに引上げる。18ドルにしたいのだが、後れている国では50セントが問題になるので内輪に止めた。

(5) 手続要覧から60%ルールが消えた問題についてはある程度の意見交換はあったが、どうすればよいかの具体的方針は示されず、結局ガバナーに任せられた形になった。

(6) 同日午後“ロータリーの友”新旧委員合同会議がもたれ、上野豊委員長(横浜)の司会の下に出席者の紹介や年度間の事業計画の討議などが行なわれた。

地区ニュース DISTRICT NEWS

第1回地区諮問委員会は7月6日(金)午前11時よりホテルニューナゴヤで川瀬ガバナー他12名が集って開かれた。引き続き午後12時からには新旧分区代理、委員長会議、午後2時からには拡大委員会も開かれた。

■第1回地区諮問委員会開催 議題

1. 地区行事予定について
2. 1981~82年度地区大会及び地区協議会の開催候補地について
 - 地区大会地は西三河地区
 - 地区協議会は尾張第1分区及び尾張第2分区
3. 地区拡大増強について
 - クラブ新設3~5クラブ増加目標

○会員数2%純増に努力する

4. 1981～82年度ガバナー・ノミニー選出について

○出来れば西三河地区より選出

5. 一般会計、特別会計の概算報告

6. 意義ある業績賞の選考委員の選出について

委員長：田辺三郎パストガバナー

委員：森 泰樹パストガバナー

原 享二パストガバナー

川瀬 保ガバナー

7. 東北信分区の分区代理病気の為変更について承認した



工 藤 芳 夫

丸子R.C.

(文房具販売)

ロータリー歴：丸子R.C.創立メンバー、S.40副会長、S.41会長
働わかまつ：〒386-04 長野県小
県郡丸子町 TEL(02684)2-2836

自宅：〒386-04 長野県小県郡丸子町1650 TEL(02684)
2-2118

8. 地区にオンツー・シカゴ委員会を設ける
委員長：北野幾造ガバナー・ノミニー(長野)

委員：水野民也(名古屋東)

9. 1979～80年度地区大会企画委員会委員
に安野譲次パストガバナーを追加委嘱した

10. 地区大会について

○R.I.会長代理としてジョージ・ミーンズ氏内定

○大会役員として下記の通りガバナーより委嘱した

1. 大会決議委員会

委員長：安野譲次パストガバナー

委員：鮎谷賢太郎パストガバナー

2. 信任状資格審査委員会

委員長：森 泰樹パストガバナー

委員：山田市三郎パストガバナー

3. 選挙管理委員会

委員長：田辺三郎パストガバナー

委員：原 享二パストガバナー

4. 登録委員会

委員長：内藤八郎(豊橋北)

■新旧分区代理、委員長会議開催

議題

1. ガバナー所信表明

2. 各委員会引継ぎ年度計画の作成

〃 最終年度報告の作成及び方針
発表

■拡大委員会開催

議題

1. 川瀬ガバナーより拡大方針説明

2. 第260地区各分区より現況報告

3. 愛知県3クラブ新設希望

長野県2クラブ新設希望

4. 公式訪問の折に各クラブにお願いする

訃 報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

7月6日 塚田三郎 殿(名古屋守山)



■会長変更のお知らせ

安城ロータリークラブ会長は金子新一氏より
神谷信雄氏に変更された。

■3H運動にかかわる寄付について

多くのクラブからご照会がありました3H運動の目標額の1つである1,500ドル相当の寄付については、6月30日迄の納付については295,500円(¥197×1,500)でよいことになり、すでにこの金額を寄付されたクラブに対しても、バナーを送る旨の回答がありました。但し7月1日以降は322,500円(¥215×1,500)となりますのでよろしくお願いします。

国際ロータリー在日財務代行者 柏原孫左エ門

〒100 東京都千代田区有楽町1-1-2(三井銀行本店内)

三井銀行本店営業部(普)No.968-049

TEL<03> 501-1111(内線2428)



暑中お見舞申し上げます

ガバナー事務所一同